

## けいせん

2017. 3.15



「大切なものは目に見えない。心で見ないと見えないんだよ」

『星の王子さま』 サンテグジュペリ

「見えぬけれども あるんだよ 見えぬものでも あるんだよ」

『星とてんしほ』 金子みすず

どちらもとても有名な言葉なのでご存知の方も多いでしょう。私達も「わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。」(コリントの信徒への手紙Ⅱ 4:18)という聖書の言葉を心にとめて、今年度も子どもたちと共に学びました。

大切な目に見えないものって、心で見ないと見えないものって、見えなくてもあるものって何でしょう。心、気持ち、思い、願いといった内面的なもの。またそれまでの努力、過程、時間、場所、雰囲気なども見えません。でもこれだけ並べてみてもそのひとつひとつが子どもが育つためにとても必要なものであることがわかります。あたたかい雰囲気の中で気持ちを受けとめてもらいながら毎日を過ごす子は、ちゃんと幸せでしょう。結果だけじゃなくそれまで取りこんだこと、そのうれしさや悔しさをわかってもらえた子は、ちゃんと厚みがあることでしょう。ずっと失敗しても、あたたかみがあるよ、大丈夫と信じてもらえた子は、ちゃんと勇気がわくことでしょう。

礼拝、クリスマス、様々な行事の中で牧師先生のメッセージをきいてきた子どもたち。それぞれの学年にわかりやすい言葉で時には絵本を使いながら、とお話の内容は違ってもそこに貫かれていたメッセージ。それは「あなたがそこにいることが素晴らしい！」でした。何かができなかったのではなく、できた服を着ているからではなく、人より優れているところがあるからではなく、先生のものを持っているからではなく、あなたの存在そのものがとても素晴らしいかけがえのないものだよ、ということ...

これから巣立っていく年長組の子どもたちが歩む道のりには、見えるものの誘惑も多く見えるもので判断したり判断されたりすることの方が多いかもしれません。姿形、成績、結果、評価面などなど。でも、これまで毎日大好きな仲間とありのままの自分を出し合って思いきり遊びそして祈りを共にして過ごしてきた子どもたちは、自分を大切に、まわりの人を大切に、見えないものを大切にしながら大きくなっていくことと信じています。見えない祈りに支えられながら...

新しい歩みの上には、神様の祝福がしっかりとありますように。